



ごあいさつ

平成19年6月

理事長 長谷川良男

皆様におかれましては、平素より新発田信用金庫を格別にご愛顧、お引立て賜り、誠にありがたく心より御礼申し上げます。

当金庫は、大正13年7月の創業以来一貫して地域社会の繁栄に貢献することを基本理念に掲げ、地域金融機関として地域との共存共栄を使命に徹してまいりました。

本誌は、情報開示を通じて経営の透明性に努め、当金庫の経営内容をはじめとした業況の推移、地域に対する活動状況を皆様にご理解頂くとともに、尚一層のご愛顧を願いたくディスクロージャー誌『しんきんレポート2007』を作成いたしました。

平成18年度における日本経済は、ゆるやかな景気拡大を続けておりますが、個人消費は所得の伸び悩みから力強さに欠けており、中小企業全体としても経済指標の推移が示すように本格的回復には時間を要しております。

この様な経済環境の中で、当金庫においては業容の拡大を課題とした積極的な営業推進に取組み、総預金量は念願の700億円を達成することが出来ました。また、金融機関の健全性を示す自己資本比率においても15.80%と極めて高率を確保し、国内基準とされる4%を大幅に上回っております。この様な高い健全性を維持できますことは、ひとえに皆様からの深い信頼とご支援によるものと改めて感謝いたします。

今後におきましても、地域金融機関としての“地域の皆様に信頼されるしんきん”であり続けるよう、役職員一同誠心誠意努力してまいります所存でございます。

皆様におかれましては、本誌をご高覧いただき、引き続き格別のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますと共に、皆様のご健勝とご繁栄を心からお祈りし、ご挨拶といたします。

2007
SHIBATA SHINKIN
DISCLOSURE

しんきん レポート